

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【小規模多機能花うさぎ】

令和7年度

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年3月13日（17:00～17:30）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	千葉 吉田 神谷 西郡 高木 大和田 山崎 小松 佐々木 高塚 土橋 土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	4人	4人	12人

前回の改善計画	・直接ご家族とのやりとりをする機会が少ないので、ケアマネや管理者から情報を得てご家族様に提案ができたり確認をしていく。情報をスタッフ全員に共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・記録でのやりとりでは情報を共有しているが、細かい情報などは把握できないことがあった。積極的にコミュニケーションをとれた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		12			12
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		10	2		12
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？		11	1		12
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		11	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わりの中で把握した情報は文書やPCを利用して記録し職員同士で共有しています。ケアの疑問点は都度本人、家族、ケアマネに確認しながら支援しています。 ・ケアマネを中心に利用前に事前訪問を行い、本人の状態や人柄の把握、家族の不安点などについて把握し、寄り添いながら支援しています。 ・全利用者のモニタリング用紙を作成し、利用時の様子やプランの進捗状況の報告を行っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ミーティングを行う時間が無く、情報など回覧にてしているが、日数がかかってしまい周知に時間差がうまれてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・回覧等がまわってきたら少なくとも1週間いないにまわすこと。 - 月に一度の事業所会議の中で利用者家族との支援を振り返る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年3月13日 (17:00～17:30)
2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	千葉 吉田 神谷 西郡 高木 大和田 山崎 小松 佐々木 高塚 土橋 土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	4人	人	12人

前回の改善計画	・本人が生活する上で何がしたいか? どうしたいのかを補任の様子、言葉、表情や意思、家屋からの情報など多角的な視点を持つことで分かることを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人の希望とADL、環境等が一致せず支援に悩むことが多かった。チームとして情報を共有し多角的な視点から話し合いをするという機会が作れなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		5	5	2	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	4		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11	1		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		11	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人に本当の望みを理解することは難しいが、本人から出た言葉は受け止めようとしている。 ・ケアプランの支援内容と目標を一覧化し、プランに沿った支援や記録が行える体制をとっています。 ・意欲や訴えがない方に対しては日々の関わりの中で知り得た情報をアセスメント表に反映した内容から「～したい」ことをくみとり、実現に向けて活動計画を行っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事前訪問や日々の関わりで知り得た情報を元に利用者の「～したい」の把握に努めていますが、意欲や訴えが少ない方に対しては「～したい」の把握や行き届いた支援が不十分な場合があります。その結果に対しての振り返りや次の取組についての協議が行えていないことがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・「～したい」の把握が不十分な方には、再アセスメントを行い、新たな情報から支援内容を職員全体で検討し、実践していきます。不参加者には申し送りを行います。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年3月13日 (17:00~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 千葉 吉田 神谷 西郡 高木 大和田 山崎
小松 佐々木 高塚 土橋 土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	2人	人	12人

前回の改善計画	・利用者本人からの情報から本人の能力や変化に気づき、情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・訪問についてはスタッフが同じ方であることから多くの情報に偏りがち。スタッフ間で情報共有を目指す。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		8	4		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	2			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	10	2			12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	5			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	7			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用前にケアマネと職員一人が事前訪問で生活環境の把握を行い、内容をミーティングや職場会議で共有を行っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・決まった支援内容だけでなく、突発的に起こる本人の気持ちの変化や思いなどに対して柔軟な対応を行う事が日によって十分でないことがある。記録に載せていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・突発的に起こる利用者の声に対して気づいた点は積極的にケアマネ、主任に報告してプランへ具体化していきます。職員課での申し送りも行っていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施 日	令和8年3月13日(17:00~17:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	千葉 吉田 神谷 西郡 高木 大和田 山崎 小松 佐々木 高塚 土橋 土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	3人	人	12人

前回の改善計画	・介護が必要になってできなくなった地域での活動を差異化してやりがいや生きがいを持ってもらうために、利用者と地域での関わりについて理解する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・外出頻度が減ったことで趣味ができなくなった方に対して、他事業所で同じ趣味をもった方との趣味活動交流の時間を提供することができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	4		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	6		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	7		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	11		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・関わりのあった地域の方についての情報を把握しています。 ・	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の中には支援以外の時間の過ごし方について十分に把握できていない方もいるため、本人の生活スタイルや人間関係を考慮した支援に繋がっていない事があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事業所が関わっていない時間での生活上の課題を見つけて必要な支援に繋がっていかうとしましたがなかなか上手くいかないなので、今後も交流を深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年3月13日 (17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 千葉 吉田 神谷 西郡 高木 大和田 山崎
小松 佐々木 高塚 土橋 土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	12人	人	人	12人

前回の改善計画	・事業所として柔軟な支援ができるように本人や家族の変化に気づき必要な支援を行う。 ・職場内で勉強会を行い、介護経験に関係なく利用者の声にならない思いを引き出し、プランに反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・活動に意欲的でない利用者に訪問時の関わりの中から利用者の気持ちを組み取り、それを事業所で共有し、事業所でのイベント参加に繋げることができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7	5		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	4			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	7			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者・家族の心身状態に合わせて宿泊などの声かけを行い、回数調整など柔軟な対応が行えています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の関わりから利用者の状態の把握や記録は行っていますが、職員同士の話し合いや対応職員からの柔軟な支援の提案が不十分なことがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者との日々の関わりや変化について、記録する協議事項を明確に区別していき、必要に応じてアセスメントへ追記し、プランの具体化に繋げていきます。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	3人	人	12人

前回の改善計画	・利用者に関して地域包括センターと連携して情報共有を図り、スムーズな利用開始に繋げていく。 ・利用者の思いを聞き取り、地域で開催されているイベント等に参加し、地域との繋がりを確保していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・当事業所で開催されている行事に利用者も参加していただきました。地域との交流の機会はできなかったのが今後の課題となります。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	9	2	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			1	11	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			1	11	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	3	8	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域行事（ゴミ拾い）への参加や、地域と事業所の繋がりを踏っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・徐々にイベント等が開催されておりますが、利用者が地域の行事等に出かけるという取り組みはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の参加したいイベントには継続して参加できるよう支援を行い、新たに利用者の地域の行事についても家族や地域の方から情報収集を行い支援に繋げていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年3月13日 (17:00~17:30)
7. 運営	メンバー	千葉 吉田 神谷 西郡 高木 大和田 山崎 小松 佐々木 高塚 土橋 土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	人	人	12人

前回の改善計画	- 今後も利用者・家族・地域の方から意見を伺いながら、利用者に必要なサービスを提供していく。 - サービス担当者会議を通じた事例検討で意見交換を行い、意見の中から業務改善を行っていく。 前年度同様
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の個別支援内容の具体化に向けて月次で出し合い、利用者に関わる時間の確保のための職員同士の声かけや協力体制の強化を図ることができています。前年度同様

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		4	8		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	3		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	3		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	8	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること - 毎月の職場会議で重点課題や取り組み内容の振り返りを行い、次の目標を設定し、事業所全体で取り組みを進めています。 - 事業所の活動状況やイベント情報を発信して地域に根付いた事業所に向けて取り組んでいます。 昨年同様
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること - 地域資源として当事業所に何ができるのかが分からない。 - 当事業所の行事に地域の方が参加していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
優れた運営に向け、理念や価値、目標と現実の差から課題を明確にし、職場会議や委員会活動にて質の向上をさせていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年3月13日 (17:00~17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 千葉 吉田 神谷 西郡 高木 大和田 山崎
小松 佐々木 高塚 上橋 上橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	人	12人

前回の改善計画	・外部研修等にスタッフを参加させたいので積極的に促す。 ・内部研修を充実させる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・他事業所の利用者との交流を行い、楽しみや生きがい、自信を持ってもらえる取り組みを行っています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	9	2		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	4	1	12
③	地域連絡会に参加していますか			2	10	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4	4	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・同一人物でヒヤリハットが多数見受けられた。 ・改善策や予防策を打って再発防止に取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・取り組みによってうまくできず成果を生み出せていない事例もあり、職員のスキルアップに繋げる事ができていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・外部研修への参加がしやすい職場環境勤務調整をしていきます。 ・オンライン研修などを活かして参加できないスタッフの質の向上を目指す	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	人	人	12人

前回の改善計画	・利用者へのプライバシーの配慮などの職員全体での意識付けを促していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「虐待の芽チェックリスト」の結果を職場会議で振り返り、不適切ケアの予防に取り組んでいます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12				12
②	虐待は行われていない	12				12
③	プライバシーが守られている	9	3			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している			12		12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	4			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待にあたるケアはしていない。 ・他の職員が気づいた点については適宜、主任などに報告し対応しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者に聞える声で排泄等の話しをしていることがあった。 ・利用者に関する情報が、不特定多数が行き来する場所に置いてあることがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者情報に関して回覧などし置き場所に配慮する。 ・利用者に関する話し合いを行う際はイニシャルなどで呼び、個人が特定されないような配慮を行います。 ・TPOを意識して伝える。	

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 ケアネット・どばし	代表者	土橋 信臣	法人・ 事業所 の特徴	・可能な限り、ご利用者様のご要望に応じ、ご利用時間の調整を致します。 ・全職員が利用者一人一人の特性を把握し個人の思いや希望を叶えるよう努力します。 ・地域の中で安心して快適な住宅生活ができるよう地域の力を繋ぎ結びつけ地域の人と共に支えます。
事業所名	小規模多機能 花うさぎ	管理者	土橋 信臣		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	3人	2人	人	人	5人	人	12人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み ・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・計画が達成できるように多職種との連携、協働をしていく。 ・非常勤職員にもスキルアップにつながるよう研修機会を設ける。	・内部研修とおりに行えていないことがあった。参加時間やシフトの関係もあり改善の余地はある。 ・スタッフ間で情報共有しながら支援を行っているが、日常の業務に追われてしまい、時間をかけた関わり方ができていなかった。 ・その都度利用者様と向き合っているが、関わりが不十分だった。	コミュニケーションを取るのは大事なことです。	・内部研修を前年度よりも充実させる。日々のご利用者との関わりの中で役割に結びつくような言葉や行動等を情報共有する。 ・個人のスキルアップのための研修会への参加や定期的な勉強会を実施し、質の向上を図る。
B. 事業所の しつらえ・環境	見学に来て下さった方や地域の方々に事業所の環境を知ってもらえるよう、整える。	空調による温度管理や加湿器によるカッなど取り組んでいる。感染予防に努め、明るく、清潔感のある環境となるよう、事業所内の管理に努めている。	室内温度にも気を配り、快適な温度管理であると思います。	温度の管理や環境整備に努め、利用者様が快適に過ごしていただける環境を整える。感染予防にもなお一層、注意を払っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	非常勤職員も連絡会等に参加し、行政や地域資源等の理解を深める。	地域との関わりが少なかった様に思える。 自分たちでサービスを行うことなく、地域のサービスを導入できるよう対応していく。	地域の行事やイベント等が開催されてきているが、昔のように楽しんで欲しいと思います。	・利用者様それぞれの地域とのつながりを把握できるようにし、地域資源の理解を深め活用につなげていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	利用者を取り巻く環境の把握に努め、情報共有を密に行う。浮かび上がった課題等を会議で共有・検討し、必要に応じて関係機関に	地域や家族・知人との関わりが継続できるように支援している。特に心気の利用者様を取り巻く環境を把握できるよう情報収集に	自治会等の行事にもどんどん参加して欲しい。	・引続き、送迎、訪問時など職員から地域の方に関わり、情報を得て、共有をしていく。 ・地域との関係性が保たれている利

	繋げていく。	努めた。		用者に関しては、関係が切れないように、サービス内容に組み込んでいき、統一した支援ができるようにしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議での内容や、利用者や家族、地域からの要望等を職員に周知し、職員全員が地域の困りごとに気づき一緒に考え、地域に開かれた運営ができるようにしていく。	利用者様やご家族様の要望をできる限り受け止め、よりよい支援になるよう検討し、支援に繋げている。	色々な人々の意見を聴取することは重要と考えます。今後も継続し一緒に考えて行きたいと思う。	利用者や家族からの要望については、誠実に向き合い、サービスの質の向上に繋げていく。 ・運営推進会議での情報は職員全体で共有し、地域での困りごとにも目を向ける事ができるようにしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	災害が頻繁に起こっているので、今一度原点に戻り対策をしていく。 有事の際の速やかな避難誘導、連携が図れるよう取組を行う。	事業所内の避難訓練を実施。地域の方々に福祉避難所として開放できるように努めていきたい。 備蓄物の確認必要。	定期的な訓練実施と、防災など、地域との関わりのある活動について、協力して取り組んでいきたい。	・有事の際の速やかな避難誘導・連携が図れるよう取組を行う。 ・福祉施設の役割を職員全体で共有する。